

多所
製作
ツ製

金型形状調整を効率化

高精度の3次元測定機導入

自動車向けプレス部品製造のツルタ製作所（本社刈谷市一里山町、鶴田昌宏社長、電話0566・36・0357）は、高精度の3

次元測定機「ATOS」を導入した。プレス用金型の製作工程で、試作したプレス品の形状の読み取りなどに使う。金型の形状調整を効率的に行うことができるようになる。

ATOSは、独GOM社製の測定機。投資額は1千万円強。簡易に持ち運びでき、数秒で読み取りができる。試作したプレス品の読み取りのほか、金型自体を読み取ることでも金型形状のデータ保存にも活用する。

鶴田社長は「金型の調整時間を10分の1程度に短縮できる」と話している。

2015年7月21日 中部経済新聞